

The RESTAURANT By Caesarstone x Tom Dixon

2016年ミラノサローネ 英国のインテリアブランド「Tom Dixon」新コレクションを発表
Caesarstoneとのコラボレーション&Arabeschi di Latte によるフードプレゼンテーション

[@tomdixonstudio](#) [#therestaurant](#)



Tom Dixon | トム・ディクソンは、2016年のミラノサローネにおいて、イスラエルのクォーツエンジニアストーンを製造する Caesarstone | シーザーストーンとともに、「THE RESTAURANT | ザ・レストラン」を展開します。「THE RESTAURANT」では、4台の巨大なクォーツキッチンを実際に使用し、切り刻んだり、蒸したり、火を入れたり、冷凍しながら料理を行い、おなかをすかせたサローネの来場者に、先鋭的なメニューを提供します。

会場となるのは、ミラノ市中心に位置する、17世紀に創建されたバロック様式の教会、Rotonda della Besana | ロトンダ・デッラ・ベサーナ。回廊に囲まれた穏やかな雰囲気の中庭にある大きな教会内に、Tom Dixonがデザインした食堂を4区画つくり、イタリアのフードデザインスタジオ、Arabeschi di Latte | アラベスキ・ディ・ラテ が考案した料理を提供します。来場者がゆっくりとフードを味わいながら、Tom Dixonブランドの「Materiality/Luminosity/Texture | 素材本位/光/風合い」について楽しめる空間をつくりだします。

Arabeschi di Latte : <http://www.arabeschidilatte.org>

Outline

Title : THE RESTAURANT by Caesarstone X Tom Dixon

Venue : La Rotonda della Besana

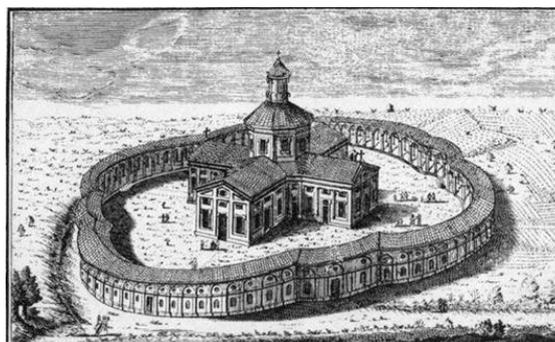
Address : Via Enrico Besana, 12, 20122 Milano, Italy

Period : 4月12日(火) 12:00~19:00

4月13日(水)~16日(土) 10:00~19:00

4月17日(日) 10:00~16:00

Instagram : @tomdixonstudio #therestaurant



Rotonda della Besana

MATERIALITY | 素材本位

Tom Dixonは、ブランド設立時から、「大理石、木、プラスチック、ガラス、鉄、真鍮、銅」を基本素材として製品を展開してきました。2016年はその基本理念に立ち返り、ブランドの創作手法が与える影響と、ブランドの基盤となる創造性である「素材そのもの」について、あらためて着目していきます。いかなる優秀なデザイナーにとっても素材選びは重要なテーマとなりますが、Tom Dixonにとっては、素材選びそのものがまぎれもないこだわりなのです。今回のコレクションを通じて、Tom Dixonがつくりだす、たぐいまれな日用品につかわれる素材や原料をご体感ください。

Caesarstone社とコラボレーションする「THE RESTAURANT」で発表する新コレクションについて

1. CURVE (素材：金属)

衛星でも、アール・デコの彫刻でもありません。CURVEは、曲線状のフォームをした幾何学的な照明で、エッチングされた金属の薄板が光を通します。CURVEの表面には、顕微鏡でしか見えないほどの小さな穴が精度高くあけられていて、やわらかな洋白でコーティングされているので、内側で光を反射したり、放ったりしながら、極めて優美な光をつくりだします。

2. FADE (素材：ポリカーボネート)

ブロー成形のポリカーボネートをつかった照明器具です。シェードが涙の形をしているので、電球から放たれる光を集約して、丸くて明るい光の円を描き、究極なまで巨大なスポットライトの役目も果たします。光を反射させる手法から脱却して、ランプのボディにそって光にフェードがかかる透明なシェードとなったという意味で、他のシリーズとは一線を画しています。

3. FLASK OIL (素材：ガラス)

Flask | フラスクは、化学実験室にあるガラス器具のもつ、シャープで機能的な幾何学的要素にインスピレーションをうけてデザインした、3連のペンダント照明シリーズです。円筒形、球形、円錐形のシェードを組み合わせ使ったり、よりフォーマルなシチュエーションで使ったりします。それぞれ、同心円状の明るい輪の光を生みだす透き通った波形のガラス製のレンズと、最新の手法で油のような虹色に仕上げられた黒いガラス製のランプシェードの、2つのパーツで構成されています。

現代のインテリアシーンとは異なり、アーツ・アンド・クラフツ時代の陶芸家やガラス職人の間では、光沢感や玉虫色カラーを作品に取り入れることが高く評価されていました。ただ、最近になって、最新の技術により、これらのエフェクトの新しい表現方法の幅がひろがり、再び評価されることでしょう。

Caesarstone | シーザーストーン www.caesarstone.com

住宅や商業施設向けの、キッチンカウンター、化粧台、壁の被覆材、床面などのインテリア製品に用いられる、上質なクォーツエンジニアストーン「Caesarstone」を製造しています。製品は、様々な色彩、スタイル、デザイン、質感に富んでいることに加えて、同社のクォーツエンジニアストーン「Caesarstone」そのものが、硬度が高く、表面に空隙（小さな穴）がないので、傷や染みになりにくく、耐久性が高いので、御影石、工業製的な素材、ラミネート加工品、他社の開発したクォーツエンジニアストーンなど、他の競合する素材をおさえ、優れた内装材としてお客様に提供されています。Caesarstone社の「Classico」、 「Supremo」、 「Motivo」、 「Concetto」の4つのコレクションラインは、世界50カ国以上で販売されています。

La Rotonda della Besana | ロトンダ・デッラ・ベサーナ について www.muba.it

2014年、ミラノ市中心に位置する教会「La Rotonda della Besana」の使用権が、ミラノ市から、8年間、MUBA*に譲渡されることになりました。MUBAは、子どもたちが将来直面する、クリエイティブな取り組みの必要性が今よりも大幅に高まる社会に向けて、子どもたちが固定概念から解放されたクリエイティブマインドを育めるよう、文化的表現を創造し促進することを目的に活動する財団です。MUBAは、MUBA以外の子どものためのミュージアムの教育的アプローチを取り入れ、子どもたちの直接体験にフォーカスした革新的なカルチャーを促進することを目的として、ノン・フォーマル教育を発展させ広げています。

*MUBA :

Museo dei Bambini di Milanoの略。

ミラノにある、「子どものためのミュージアム (Children's Museum of Milan)」

「Tom Dixon」ブランドについて

「Tom Dixon | トム・ディクソン」は、照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリ約600点を展開するデザイナー、トム・ディクソンが主宰するイギリスのインテリアブランドです。2002年のブランドスタート以降、独創的なミラーを使った照明シリーズや、一点モノのアート作品にも近い斬新なプロダクトを数々発表。代表作のひとつである「sチェア」は、MoMA(ニューヨーク近代美術館)の永久コレクションにも選ばれるなど、世界中のデザイン界で高い人気を集めてきました。また、最近では、商業施設の内装や建築デザインなどのプロジェクトも世界中で進めており、2014年には、ロンドンを中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、建築デザイン業界においても高い評価を得ました。2015年7月には、「Tom Dixon」ブランドの“日本初”となるオンリーショップをオープン。ウィングバックチェアやビートライトシリーズなどの代表作はもとより、照明、チェアやホームアクセサリなど、洗練されたプロダクトを販売しています。スタイリッシュな店内もトム・ディクソン自身が空間プロデュースに携わっており、同ブランドの世界感を存分にお楽しみいただける空間となっています。

Tom Dixon | トム・ディクソン プロフィール

1959年チュニジア生まれ。デザイナー。

2002年に「TOM DIXON Ltd」を設立。照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリを展開するイギリスのインテリアブランド「Tom Dixon」をスタート。素材そのものの特徴を生かした独創的な創作手法は、一種異端的、且つ工業的なアプローチを体現するものであり、その表現方法は一見英国的な側面を持ちながらも、奇抜でユニークな部分を兼ね備えています。代表作のウィングバックチェア、ビートライトシリーズなど斬新なプロダクトを生み出し、独自の地位を確立してきました。

2000年にはその功績が讃えられ大英勲章を受勲。2014年には欧州のライフスタイル見本市では最大の規模を誇る、「MAISON & OBJET (メゾン・エ・オブジェ)」のデザイナー・オブ・ザ・イヤーに選ばれるなど、現在ヨーロッパで最も注目されているデザイナーの一人です。また、空間構築の分野でもトム・ディクソンのデザイン・エッセンスをより高いレベルで表現するために、2002年「Design Research Studio | デザイン・リサーチ・スタジオ」をロンドンに設立、商業施設の内装、大規模装飾物、建築デザイン等のプロジェクトを英国及び世界中で、独創的なデザインを求めるクライアントと共にその活動領域を拡げています。2014年には、ロンドン中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、世界で高い評価を受けています。



Photo Takumi Ota

Tom Dixon Shop 青山店

Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 Contact : 03-5778-3282 info@tomdixon.jp

Opening Hours : 11:00~19:00 Close : 水曜日 夏季/年末年始



本件に関するお問合せ先

TOM DIXON Japan PR OFFICE/HOW INC. 東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401

E-MAIL : tomdixon@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405 FAX : 03-5414-6406